

# たい肥の運搬時は安全確認を！



## 事故事例

### 概要

ダンプでたい肥を運搬中、荷台のアオリの隙間からたい肥が漏れ出し、数十キロにわたり道路を汚損しました。その結果、後続車両が堆肥を大量に巻き込み、**約170台**の車両が汚損。道路清掃費用と車両の修理費用に対する損害賠償が発生しました。

自動車共済からの賠償金総額 **約4,200万円**



### 考えられる原因

- ①アオリのロックが緩んでいた可能性あり。
- ②水分量の確認をせず過剰な水分量のため漏れ出た。
- ③漏れ防止の対策を講じていなかった。



### 対策

- 事前にアオリのロック確認をしましょう。
- 網目の無いシートで覆いましょう。
- たい肥の水分量の確認（過剰な水分は排除）をしましょう。
- 走行前に車両周囲の最終確認をしましょう。

場合によっては刑事罰を科されたり、  
行政処分を受ける可能性があります

### 罰則

#### 廃棄物処理法第16条違反

何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない

⇒懲役5年以下、または罰金1000万円以下、もしくはその併科

### 罰則

#### 道路交通法第76条4項7号違反

著しく交通の妨害となるおそれがある行為

⇒5万円以下の罰金

### 罰則

#### 道路法第43条違反

道路に汚物や廃棄物を漏洩・投棄した場合

⇒1年以下の拘禁刑または50万円以下の罰金